



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フェイス  
 コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(氏名) 平澤 創  
 (氏名) 佐伯 次郎  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5464-7633  
 平成28年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,339	6.5	1,129	96.2	1,083	86.7	434	38.5
28年3月期第2四半期	9,709	6.9	575	—	580	—	313	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 902百万円 (137.9%) 28年3月期第2四半期 379百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	43.98	—
28年3月期第2四半期	30.23	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	25,060	17,655	63.5	1,613.35
28年3月期	24,712	16,829	62.9	1,576.18

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,922百万円 28年3月期 15,556百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△0.8	1,570	2.3	1,470	△3.9	600	△7.1	60.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	11,960,000 株	28年3月期	11,960,000 株
29年3月期2Q	2,090,700 株	28年3月期	2,090,390 株
29年3月期2Q	9,869,423 株	28年3月期2Q	10,363,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料及び四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、四半期決算説明会資料に含め平成28年11月25日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

国内の情報通信分野においては、スマートフォン等ICT端末の性能の進化やブロードバンド環境の整備により、2015年末のスマートフォンの世帯普及率は72.0%（前年比7.8ポイント増）、インターネット利用者数は1億46万人（前年比0.3%増）と増加しております（※1）。また、モノがインターネットに繋がるIoT（Internet of Things）、仮想現実（VR）や拡張現実（AR）といった新技術を伴う新たなプラットフォーム・市場の創出により、インターネットビジネス環境は世界規模で多様化と拡大が続いております。

音楽コンテンツ市場においては、スマートフォン等の普及に伴い定額制音楽配信サービスが相次いで開始されるなど音楽の利用形態や販売チャネルが変化しており、今後も消費者の嗜好やライフスタイルに合わせたサービスを機敏に提供していくことがますます重要となっています。

※1 出所：総務省 平成28年版「情報通信白書」

このような環境の下、当社は、創業以来コンテンツのデジタル流通に注力してきた取組みを活かし、引き続き『マルチコンテンツ&マルチデバイス戦略（様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造）』を推進し、インターネット上に溢れる情報を収集、整理し、付加価値を高めてユーザーに提供するプラットフォームの開発など市場環境の変化に応じた新規サービス展開に取り組んでまいりました。また、コンテンツ事業においては、グループ間の事業シナジーを活かした音楽サービスのプラットフォーム構築や、様々な音楽配信事業の拡充、強化に引き続き注力いたしました。

当社グループの第2四半期連結累計期間の業績については、コンテンツ事業、ポイント事業は減益となりましたが、コロムビア事業においてアニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したため、売上高は前年同期比6.5%増の10,339百万円、営業利益は前年同期比96.2%増の1,129百万円、経常利益は前年同期比86.7%増の1,083百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比38.5%増の434百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;コンテンツ事業&gt;

コンテンツ事業においては、スマートフォン等の普及や音楽視聴スタイルの変化など市場環境に応じた新たな商品開発を積極的に進めているほか、多様化する収益源の獲得に向けてプラットフォーム化などを行うとともに、既存の事業を含めたサービス内容や市場性の結果検証を行い、機能の改善や各サービスとの連動など、より付加価値を高める施策を推進しております。

「FaRao PRO」は、業務用BGMのほか店舗運営に必要な機能を提供するソリューションサービスとして、機能拡充、営業活動を積極的に展開しております。「FaRao PRO」とあわせて利用することができる業務用アナウンスの新機能「FaRao Voice」の開始や、店舗の環境づくりを支援するための多彩なチャンネルを取りそろえるなど、導入の拡大に努めております。

アーティスト向けにファンクラブ運営、楽曲配信等の機能を提供するサービス「Fans'」では、これまで様々な事務所との協業により、メジャーレーベルで活躍するアーティストの活動支援を行ってまいりましたが、平成28年8月から個人で活動するアーティストも利用が可能になりました。WEBページから専用アーティストアカウントを取得することで、オフィシャルサイトの構築・運営、楽曲やグッズのダイレクト販売、顧客管理やアクセス解析までを行うことができるサービスを提供することで、利用アーティストとユーザーの獲得に取り組んでいます。音楽活動に必要な機能を強化し、より多くのアーティストが作品や情報を自由に発信できるサービスとして売上獲得、拡大に努めております。

この結果、コンテンツ事業の売上高は、市場環境の変化に合わせた新たなサービス展開を積極的に進めたものの、フィーチャーフォン向けサービスの売上減少により前年同期比5.3%減の2,217百万円となり、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益117百万円）となりました。

## &lt;ポイント事業&gt;

ポイント事業においては、ポイントカード加盟店でのポイント発行が堅調に推移し、セルフリキデーション（※2）事業も好調であったことにより売上高は、前年同期比3.1%増の1,147百万円となりました。営業利益は、人材投資等を実施し人件費等が増加したことにより前年同期比39.7%減の58百万円となりました。

※2 シールなどのポイントを貯めて、様々な商品を割引価格で購入できるキャンペーン

<コロムビア事業>

コロムビア事業においては、音楽市場の縮小に伴う音楽・映像関連業界の厳しい環境の下、パッケージ商品に依存している状況からの脱却を図るため、将来を見すえた新規事業の強化を進めております。

業績につきましては、アニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比11.5%増の6,974百万円となりました。これに加え、利益率の高い過年度発売作品の売上が堅調に推移したことにより、営業利益は前年同期比201.7%増の1,074百万円となりました。

※本文書に記載されている会社名、製品名は、各社および各団体の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて348百万円増加し、25,060百万円となりました。主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて476百万円減少し、7,405百万円となりました。主として、流動負債のその他の減少、借入金を返済したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて825百万円増加し、17,655百万円となりました。主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、非支配株主持分の増加、配当金の支払いによること等によるものであります。

自己資本比率は0.6ポイント改善して、63.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,909百万円増加し、12,823百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,106百万円を計上したこと等により、前年同期比53.3%増の1,026百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出500百万円、有価証券の取得による支出230百万円、ソフトウェアの取得による支出147百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が2,008百万円あったこと等により、前年同期比34.5%減の1,086百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出198百万円、配当金の支払額が49百万円あったこと等により前年同期比85.6%減の256百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成28年11月7日に開示いたしました数値に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,680,124	13,323,597
受取手形及び売掛金	2,388,481	2,642,468
有価証券	242,521	233,964
商品及び製品	508,709	509,817
仕掛品	202,043	251,155
原材料及び貯蔵品	47,624	61,328
未収還付法人税等	7,492	8,224
繰延税金資産	12,341	11,509
その他	920,570	464,645
貸倒引当金	△52,908	△19,553
流動資産合計	16,957,000	17,487,158
固定資産		
有形固定資産	2,894,315	2,852,872
無形固定資産		
のれん	1,959,316	1,894,022
その他	874,354	887,986
無形固定資産合計	2,833,671	2,782,008
投資その他の資産		
投資有価証券	1,753,502	1,642,451
その他	554,302	598,394
貸倒引当金	△280,607	△302,262
投資その他の資産合計	2,027,196	1,938,584
固定資産合計	7,755,183	7,573,465
資産合計	24,712,183	25,060,623
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	995,288	1,024,356
短期借入金	686,120	686,120
リース債務	16,133	11,323
未払費用	2,541,442	2,492,119
未払法人税等	189,734	244,364
賞与引当金	66,147	65,882
ポイント引当金	33,874	29,466
返品調整引当金	92,333	105,363
その他	1,627,967	1,386,640
流動負債合計	6,249,041	6,045,637
固定負債		
長期借入金	816,650	618,590
退職給付に係る負債	609,261	549,185
リース債務	8,028	3,740
繰延税金負債	152,646	145,503
その他	46,744	42,895
固定負債合計	1,633,331	1,359,914
負債合計	7,882,373	7,405,551

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,707,197	3,707,686
利益剰余金	11,480,657	11,865,369
自己株式	△3,038,502	△3,038,867
株主資本合計	15,367,352	15,752,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,282	185,508
為替換算調整勘定	△8,446	△13,922
退職給付に係る調整累計額	△928	△1,186
その他の包括利益累計額合計	188,908	170,399
新株予約権	42,734	15,691
非支配株主持分	1,230,815	1,716,792
純資産合計	16,829,810	17,655,072
負債純資産合計	24,712,183	25,060,623



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,709,264	10,339,227
売上原価	5,881,165	6,087,028
売上総利益	3,828,098	4,252,199
販売費及び一般管理費	3,252,492	3,122,964
営業利益	575,606	1,129,234
営業外収益		
受取利息	2,505	519
受取配当金	1,977	2,858
有価証券利息	72	15
投資事業組合運用益	10,840	23,598
雑収入	12,443	5,843
営業外収益合計	27,840	32,835
営業外費用		
支払利息	7,337	6,235
持分法による投資損失	10,461	60,388
投資事業組合運用損	3,162	—
為替差損	910	4,105
雑支出	1,058	7,519
営業外費用合計	22,929	78,249
経常利益	580,516	1,083,821
特別利益		
固定資産売却益	990	74
持分変動利益	36,228	—
段階取得に係る差益	13,186	—
新株予約権戻入益	14,906	27,043
その他	1,511	—
特別利益合計	66,823	27,117
特別損失		
固定資産処分損	3,949	4,122
減損損失	9,966	—
投資有価証券評価損	3,176	—
著作権関連損失引当金繰入額	10,000	—
その他	500	—
特別損失合計	27,591	4,122
税金等調整前四半期純利益	619,748	1,106,816
法人税等	128,274	186,565
法人税等調整額	360	580
四半期純利益	491,114	919,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	177,787	485,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	313,326	434,060

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	491,114	919,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,279	△12,170
為替換算調整勘定	△13,997	△4,889
退職給付に係る調整額	△14,576	△505
その他の包括利益合計	△111,853	△17,564
四半期包括利益	379,260	902,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,139	415,551
非支配株主に係る四半期包括利益	171,121	486,554

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	619,748	1,106,816
減価償却費	168,802	167,460
減損損失	9,966	—
のれん償却額	78,295	69,839
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37,916	△12,306
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,072	△264
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,919	△4,407
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△52,643	△55,927
受取利息及び受取配当金	△4,483	△3,378
有価証券利息	△72	△15
支払利息	7,337	6,235
為替差損益(△は益)	△943	2,424
投資有価証券評価損益(△は益)	3,176	—
持分法による投資損益(△は益)	10,461	60,388
持分変動損益(△は益)	△36,228	—
固定資産売却損益(△は益)	△990	△74
固定資産処分損益(△は益)	3,949	4,122
段階取得に係る差損益(△は益)	△13,186	—
売上債権の増減額(△は増加)	619,479	△267,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	252,862	△60,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△320,580	307,268
その他	△682,010	△155,840
小計	722,845	1,164,110
利息及び配当金の受取額	10,225	3,599
利息の支払額	△7,400	△6,236
法人税等の還付額	55,228	7,492
法人税等の支払額	△111,228	△142,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,671	1,026,482

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,008,740	△500,000
定期預金の払戻による収入	4,032,306	2,008,881
有価証券の取得による支出	—	△230,000
有形固定資産の取得による支出	△55,763	△22,658
ソフトウェアの取得による支出	△191,367	△147,849
ソフトウェアの売却による収入	3,780	—
投資有価証券の取得による支出	△61,360	—
投資有価証券の売却による収入	14,032	8,206
関係会社株式の取得による支出	△100,000	—
のれんの取得による支出	△462	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	42,404	16,989
貸付金の回収による収入	60	60
敷金の差入による支出	—	△3,008
敷金の回収による収入	21,213	—
その他	△36,809	△43,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,659,291	1,086,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,878	△9,098
長期借入金の返済による支出	△170,560	△198,060
自己株式の取得による支出	△1,581,408	△364
自己株式の売却による収入	69	—
配当金の支払額	△55,484	△49,432
非支配株主への配当金の支払額	△56	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,786,318	△256,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	943	△1,719
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	543,588	1,854,615
現金及び現金同等物の期首残高	9,346,285	10,913,765
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	55,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 9,889,873	※ 12,823,597

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	コロムビア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,341,871	1,112,539	6,254,853	9,709,264	—	9,709,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,865	778	26,496	102,140	△102,140	—
計	2,416,736	1,113,317	6,281,350	9,811,404	△102,140	9,709,264
セグメント利益	117,344	96,207	356,073	569,625	5,980	575,606

(注) 1. セグメント利益の調整額5,980千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ	ポイント	コロムビア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,217,531	1,147,550	6,974,145	10,339,227	—	10,339,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,069	—	21,654	80,724	△80,724	—
計	2,276,601	1,147,550	6,995,800	10,419,951	△80,724	10,339,227
セグメント利益又は損 失(△)	△3,653	58,013	1,074,182	1,128,543	691	1,129,234

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額691千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。